

令和 6 年度第 2 回倉吉市地域公共交通会議
会議録（要旨）

（日時）令和 6 年 10 月 4 日（金）10 時～11 時

（場所）倉吉市役所本庁舎 3 階大会議室

（出欠）会長、副会長、委員 13 名（欠席委員 5 名）、随行者 1 名、事務局 6 名

= 次第 =

1 開会

2 挨拶

3 報告事項

（1）関金地区予約型乗合タクシーの運賃に係る令和 6 年度第 1 回運賃協議分科会の
書面開催の結果について

4 協議事項

（1）打吹エリアにおける周遊モビリティ（打吹つながるモビリティ・通称 U-MO
（ウーモ））の実証運行の実施について **【承認】**

5 閉会

《主な意見等》

2 挨拶

（会長）

- この 10 月から本会議でも検討してきた関金地区の実証実験が始まった。中山間地域のモデルとして本会議でも実証を見守っていきたい。
- 今回は、来月からのグリーンスローモビリティの実証実験に向けた会議である。県立美術館の開館もうすぐであり、本会議でも委員各位の慎重審議をお願いしたい。

3 報告事項

関金地区予約型乗合タクシーの運賃に係る令和 6 年度第 1 回運賃協議分科会の書面開催の結果について

（事務局）

- 前回会議では運賃に関する協議事項を書面にて開催し、運賃協議会 4 名の委員より承認を得た。意見は、配布資料の通り反映して対応していきたいと考えている。

4 協議事項

打吹エリアにおける周遊モビリティ（打吹つながるモビリティ・通称 U-MO（ウーモ））の実証運行の実施について

（事務局）

- 令和 6 年 11 月 9 日（土）から 12 月 13 日（金）までの期間中、グリーンスローモビリティを活用した実証実験を行う。このうち、令和 6 年 11 月 9 日（土）～11 月 28 日（木）は

一般乗合旅客自動車運送事業にて実証運行を行う。

- 観光客向けのくらし楽モビツアーと、住民向けのおでかけツアーの２種類を行い、どちらも区域運行、１日２便で実施する。

（国土交通省中国運輸局鳥取運輸支局）

- 運行区域について、今年度追加で検証する区域での運行イメージを教えてください。希望がある場合に利用者のお迎えに行くというイメージでよい。
- おでかけツアーについて、買物コースとまちなか散策コースの２種類あるが、各予約で別々のコースを希望する場合、どのような運用とするのか。
- おでかけツアーの予約の締め切りは設定しているか。
- 本実験は国の共創モデル実証運行事業を活用した取組であり、国庫補助を活用している事業であるため、持続可能性があり、他地域の手本となる運行としてもらいたい。
- グリスロ運行について、旅客運送としてだけでなく、移動販売等の運賃外の収入も検討しているとのことであるが、それぞれの運行で想定する収益などの目標があれば教えてください。

（事務局）

- まず１点目の追加区域の運行イメージであるが、予約時に希望があれば地区までお迎えに行くことを考えている。今回追加となった経緯として、地域住民と調整を行った際、対象地域には移動手段がなく、買い物ができない状況にあるという意見があったため、その点を解決できればと考えている。今回、走行可能なルートを検証し、実験終了後に走行する道路を決定したい。
- ２点目のおでかけツアーの予約に関しては、コミュニティセンターを通じた予約を考えており、ある程度まとまった人数のグループでの予約を想定している。予約受付の際にコースを選択することになるため、重複はないと考えている。
- ３点目のおでかけツアーの予約の締め切りについて、具体的な日時はこの後交通事業者と最終調整するが、当面の対応としては、まず各地区のコミュニティセンターの受付を１０月末に締め切る予定である。その後、運行希望がない便について、各地区と再度個別で調整を行い、実証実験が始まる前に予約や運行計画を固める予定である。
- ４点目の収益の目標について、具体的な目標値は検討していない。過年度の実験結果による参考値はあるものの、無償実験であることから、比較はできないと考えている。今回実験は運賃を設定して有償で行うため、運賃収入の見込みを立てることができると考えている。
- 移動販売の実証実験は、グリスロ車両にエアコンがないことや冬は観光客が少ないことから冬季の運行並びに収益確保が課題と考えており、社会福祉法人と連携して人だけではなく物を運ぶことへのニーズを確認するために実施するものである。運賃外収入として車両の使用料も検証していきたい。
- 車内広告は、タブレットを車内や観光スポットに設置し、デジタル広告として配信するものである。この実証により広告業者からの利用料や広告収入の具体金額を検証し、ニーズを確認していきたい。こうした収入源の確保に向けた実証実験を行い、将来的な収入の目標値を固めていきたいと考えている。
- 支出面については、大きな問題は人件費と考えている。グリスロは時速１９ｋｍで安全性も高

いため、本格運行時には住民の有償ドライバーの活用も検討していきたい。また、経費の観点の他に“地域の方との会話が楽しかったと”いった観光客の意見も踏まえ、住民ドライバーを起用したいと考えている。こうした収入と経費の面を検討しながら、持続可能な運行体系を検討していきたい。

（会長）

- 運賃について、ガイド料と運賃は分けて支払うということだが、支払いが別々になると利用者にとっては煩雑な面もあるため、次年度以降に活かせるようそうした声も検証してほしい。

（事務局）

- 将来的には観光マイル協会により、観光商品として販売したいと考えている。実験でニーズを把握したい。

= 採決・承認 =

（会長）

- 今回の会議において、協議が整ったことを証明する書類として資料４を作成し、手続きを進めていく。運賃に関しては、本会議終了後の運賃協議分科会にて関係委員で協議を行う。

以上